

【HySecure 7.3】Web Engine V2の不具合事象と回避方法について

2026/09/17 19:09:40

記事印刷

区分:	ACCOPS FAQ::05. トラブルシューティング	投票:	0
ステータス:	公開 (全員)	結果:	0.00 %
言語:	ja	Last update:	2026/09/04 - 11:55:22

キーワード

WebEngine V1 V2

症状 (公開)

HySecure7.3SP1では Web Engine V2の改修がなされており、「V2」の利用が推奨となります。(2026/9/4追記)
HySecure 7.3 でのエンハンス機能として、HySecure Web Engine v2 がリリースされました。
また、HySecure 7.3へアップグレードすると、デフォルトで「V2」が有効になります。
[1]HySecure Web Engine v2

ただ、リリース後にいくつかの問題事象が発覚したため、
次期バージョンでの改修が予定されており、現在は非推奨の設定となっております。

【発生事象例】
・ Workspace Clientから、HySecureへのログインはできたが、
仮想アプリケーションや仮想デスクトップのアイコンが表示されず、以下のエラーメッセージが表示される
「ネットワーク設定またはサーバーの可用性を確認してください」

[1] https://docs.accops.com/hysecure_7_3/content_hysecure/content_revisionHistory_hysecure/7.3/rn_enhancements_v7.3.html#hysecure-web-engine-v2

問題 (公開)

解決 (公開)

【回避方法】
HySecure Web Engine v2 は、HySecure 7.3へのアップグレードと同時にデフォルトで有効となります。
そのため、HySecure管理コンソールより、Web Engine バージョンを「V2」から「V1」へ変更してください。
「V1」へ変更することで、実績のある以前の方式に戻ることになります。
この設定変更を行うには、一度、Configuration State に設定する必要があるため、ダウンタイムが必要となります。

【設定手順】
アクティブノードのHySecure管理コンソールへログインする。
Configuration State に変更する。
Settings > Service Config > Gateway State にて、「Configuration State」を選択し、「Apply」を押下する。
※このタイミングで、ユーザログインは不可となります。
Web Engine バージョンを「V2」から「V1」へ変更する。
Settings > Global > Server にて、「HySecure WebEngine Version」を検索し、「V2」から「V1」へ変更後、「Submit」を押下する。
※アクティブノードで実施することで、全てのノードの設定が変更されます。
一度、HySecure管理コンソールからログアウトし、再ログインする。
Run State に変更する。
Settings > Service Config > Gateway State にて、「Run State」を選択し、「Apply」を押下する。
※このタイミングで、ユーザログインが可能となります。

Related Product, Service (公開)

HySecure 7.3